

日立東大ラボ 産学協創フォーラム「Well-beingとスマートシティ」セッションII

柏の葉スマートシティからイノベーションディストリクトへ



2022(令和4)年5月航空写真より

2025年2月9日

東京大学／UDCK 出口 敦

●常磐自動車道
柏インターチェンジ

◆柏地区 構成員：3,559名

(2023年5月時点)

教員数 819名

職員数 771名

学生数 1,969名

〔修士課程：1,098名〕

〔博士課程： 816名〕

〔研究生： 55名〕

柏キャンパス

敷地面積：36.5ha

延床面積：174,510 m²
(2024年4月時点)

●国立がん研究
センター東病院

●千葉県立柏の葉公園

柏Ⅱキャンパス

敷地面積：8.3ha

延床面積：27,797 m²
(2024年4月時点)

柏の葉キャンパス駅前
サテライト

敷地面積：0.2ha

延床面積：6,114m²
(2024年4月時点)

●つくばエクスプレス
柏の葉キャンパス駅

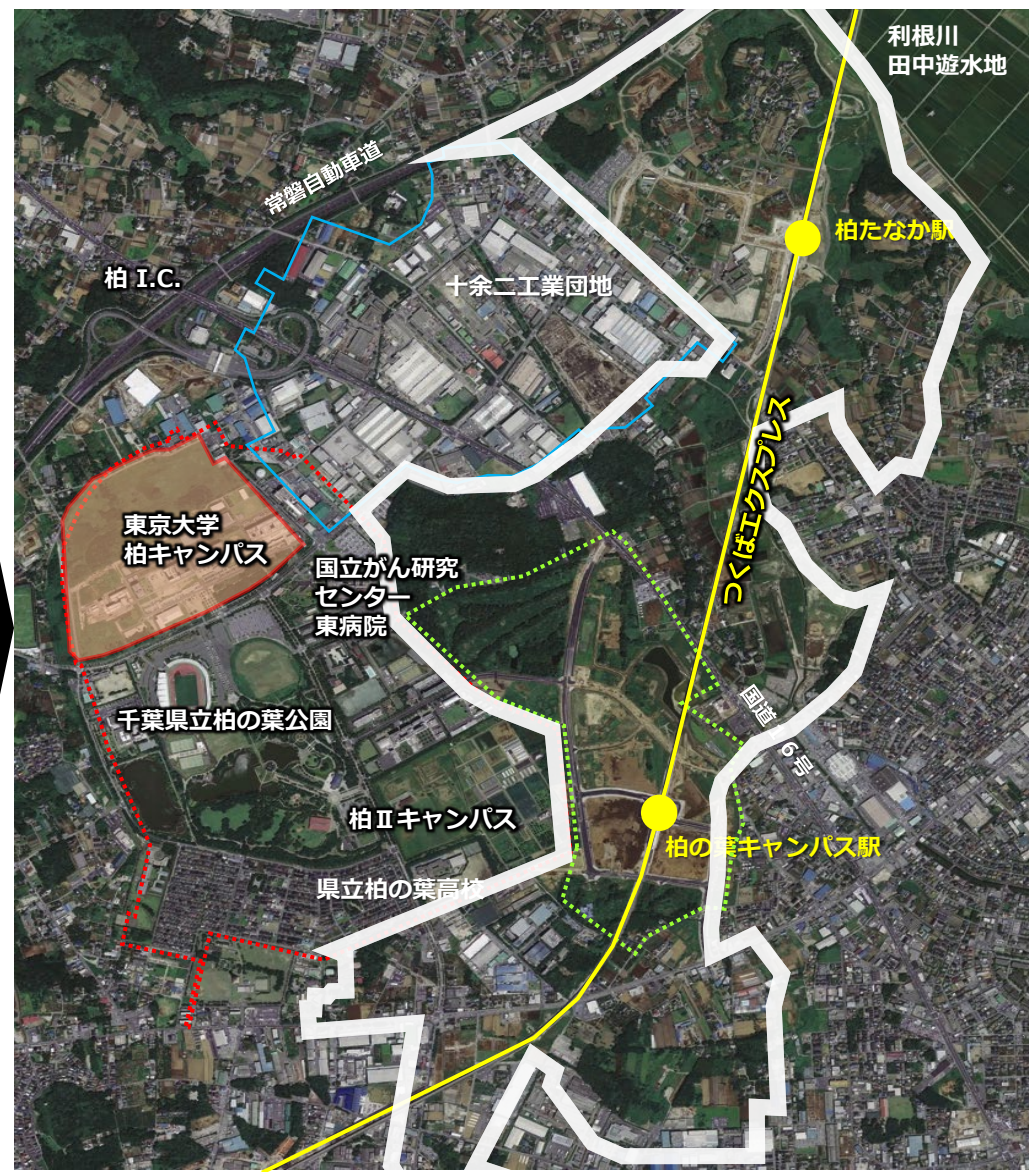


2024(令和6)年5月航空写真より

柏の葉地区の変遷



1968年



2006年（つくばエクスプレス開通後）

柏の葉キャンパス駅周辺(2004年)



東京大学
柏キャンパス

常磐自動車道 柏IC

県立柏の葉公園

国立がん研究
センター東病院

十倉二工業団地

政府系研究所

こんぶくろ池公園

柏の葉高校

千葉大学
柏の葉キャンパス

柏の葉キャンパス駅

つくばエクスプレス

土地区画整理事業区域

国道16号

柏の葉キャンパス駅周辺(2022年)



東京大学柏キャンパス

2000～

新領域創成科学研究科

(基礎科学, 生命科学, 環境学, 情報生命科学)

生産技術研究所

宇宙線研究所

物性研究所

大気海洋研究所

空間情報科学センター

情報基盤センター

カブリ数物連携宇宙研究機構センター

高齢社会総合研究機構

千葉大学柏の葉キャンパス

1991～

「環境・健康」をテーマに、教育学、薬学、看護学、
医学分野の学際的な教育研究センター

国内最大級の植物工場研究拠点

国立がん研究センター 東病院

1992～

東葛テクノプラザ

1998～

産業技術総合研究所 柏センター

2019～

【柏の葉地区】まちづくりの経緯

- 1998（平成10）年 3月 東京大学柏キャンパス 第一棟目建物完成
- 1999（平成11）年 3月 柏北部中央地区一体型特定土地地区画整理事業 決定
- 2000（平成12）年 8月 柏北部中央地区一体型特定土地地区画整理事業 施行開始
- 2005（平成17）年 8月 つくばエクスプレス開通・運行開始
- 2006（平成18）年11月 柏の葉アーバンデザインセンター（UDCK）開設
- 2008（平成20）年 3月 「柏の葉国際キャンパスタウン構想」策定（千葉県、柏市、東京大学、千葉大学）
- 2010（平成22）年12月 東京大学・柏市の包括協定締結
- 2011（平成23）年12月 内閣府「環境未来都市」「地域活性化総合特区」（柏市・東大等で申請）選定
- 2019（平成31）年 3月 国土交通省「スマートシティモデル事業 先行モデルプロジェクト」
（UDCK・柏市・東大・三井不動産等からなるコンソーシアムで実施）選定
- 2019（令和元）年11月 自動運転シャトルバス（レベル2）長期営業運行実証実験（柏ITS推進協議会）開始



柏の葉スマートシティ 2019～スマートシティモデル事業

- 駅前エリアから周辺エリアへ拡張
- 「データ駆動による人間中心の社会（Society5.0）の実現」
- 市民や研究機関とのより一層の連携、企業参画の促進



柏の葉スマートシティ 2019～スマートシティの新たな展開

”データ駆動”型社会における、柏の葉の発展と持続に向けた4つの主要課題の設定

モビリティ機能の強化

1

駅半径2km圏のスムーズな移動



エネルギーの効率利用

開発が及ぼしうる環境負荷の低減

2



パブリックスペースの活性化

3

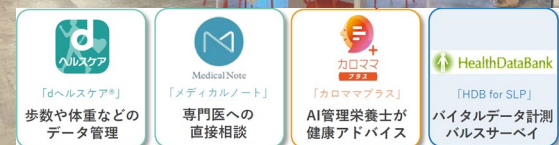
公共空間の有効活用と管理効率化



ウェルネスなまちづくり

日常生活の中で健康を維持できるまち

4



柏の葉スマートシティ 2019～スマートシティの新たな展開

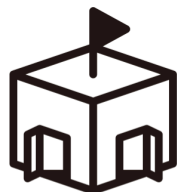
3つの仕組みによる「スマートシティ」「イノベーション」の下支え

1 コミュニティ



KOIL

Kashiwa-no-ha Open Innovation Lab



みんなの
まちづくり
スタジオ
KASHIWA-NO-HA

一緒に未来を動かそう。



資料提供：三井不動産

柏の葉
アーバン
デザイン
センター

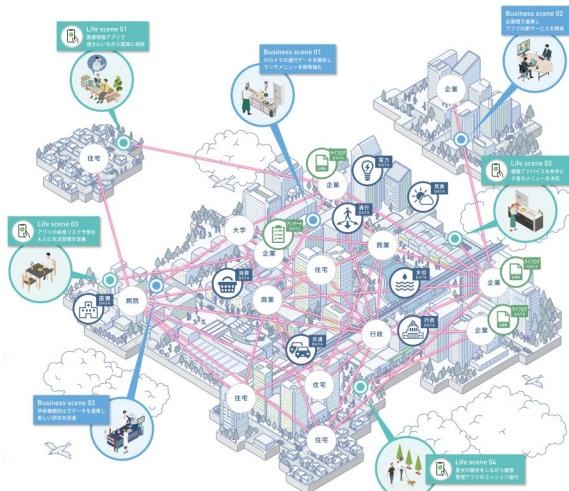
UDCK

Urban Design Center Kashiwa-no-ha

2 データ プラットフォーム

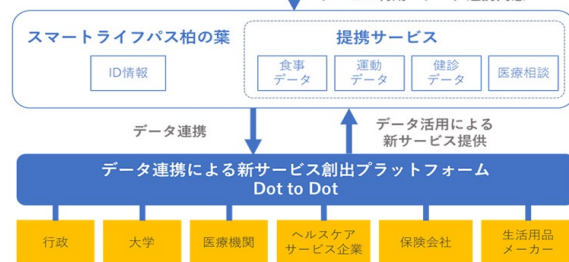


SMART LIFE PASS
KASHIWA-NO-HA



生活者

サービス利用・データ連携同意

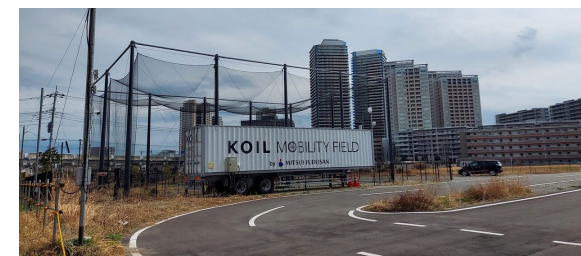


資料提供：三井不動産

その他多数参画予定

3 フィールド

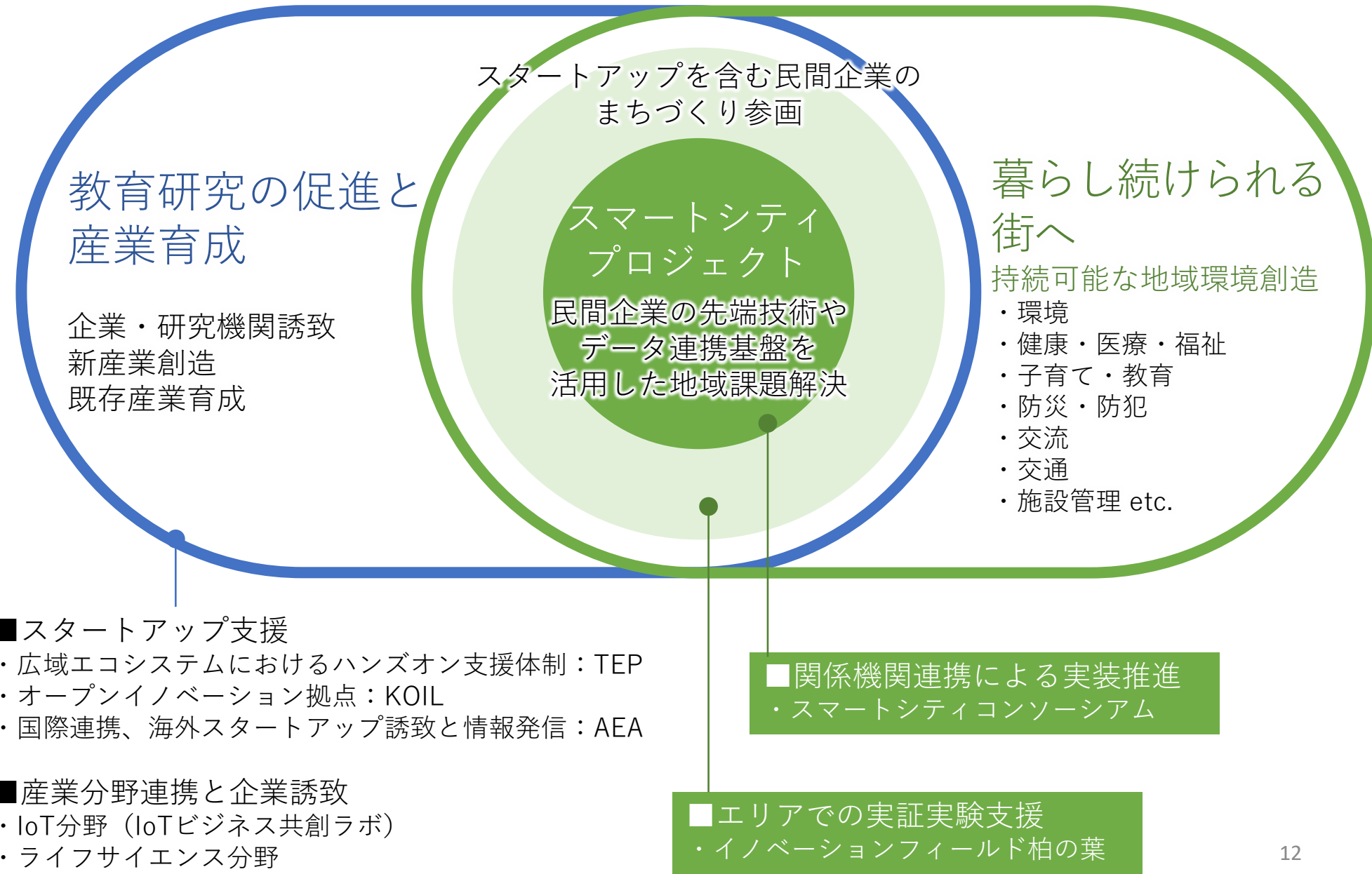
Innovation Field
KASHIWA-NO-HA



資料提供：三井不動産

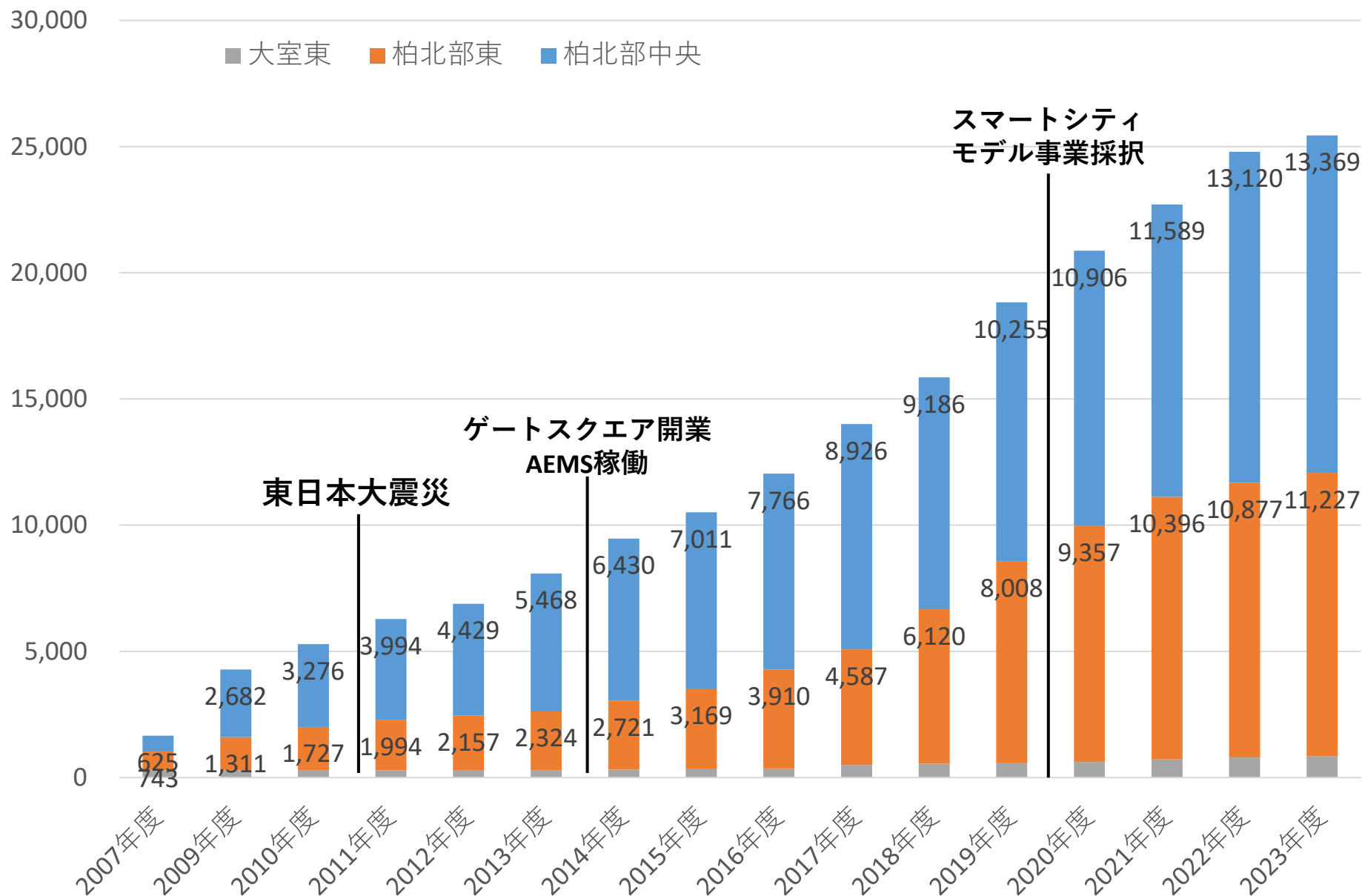
東京大学生産技術研究所

柏の葉スマートシティ：先端知を活かし育てながら街の課題に対応



土地区画整理事業区域内の人口推移

－ 柏北部中央（柏の葉キャンパス駅周辺）、柏北部東（柏たなか駅周辺） －



柏の葉／柏たなか 住民アンケート 実施概要

■対象区域: 柏の葉国際キャンパスタウン構想の対象区域（次ページ参照）

柏インター東、柏インター南、柏の葉一～三丁目と五～六丁目、船戸一～三丁目、大室、大室一～三丁目、正連寺、十余二、中十余二、若柴、小青田・小青田一～五丁目

※柏の葉四丁目、船戸、新十余二は居住者数が0のため対象外。青田新田飛地は居住者数が4名であり、容易に対象者が限定されてしまうため対象外とする。

※柏の葉スマートシティ実行計画の対象区域(若柴, 柏の葉, 中十余二, 十余二, 正連寺)を含む

■抽出条件

- ・構想対象区域からエリアのバランスを見ながら無作為抽出して郵送等により実施(協力: 柏市北部整備課)
- ・年齢範囲は, 20歳以上
- ・住所コード>地番>処理コード>男女別>生年月日>宛名番号 順
- ・過去1年間のアンケート対象者は除く。

■配布数: 2,000件

- ・スマートシティ実行計画対象区域(人口21,446人)での回収目標500件、これを含む構想対象区域(人口34,298人)での回収目標800件と設定
- ・過去の柏市によるアンケート回収率から回収率40%を想定
- ・上記により2,000件(通)を郵送

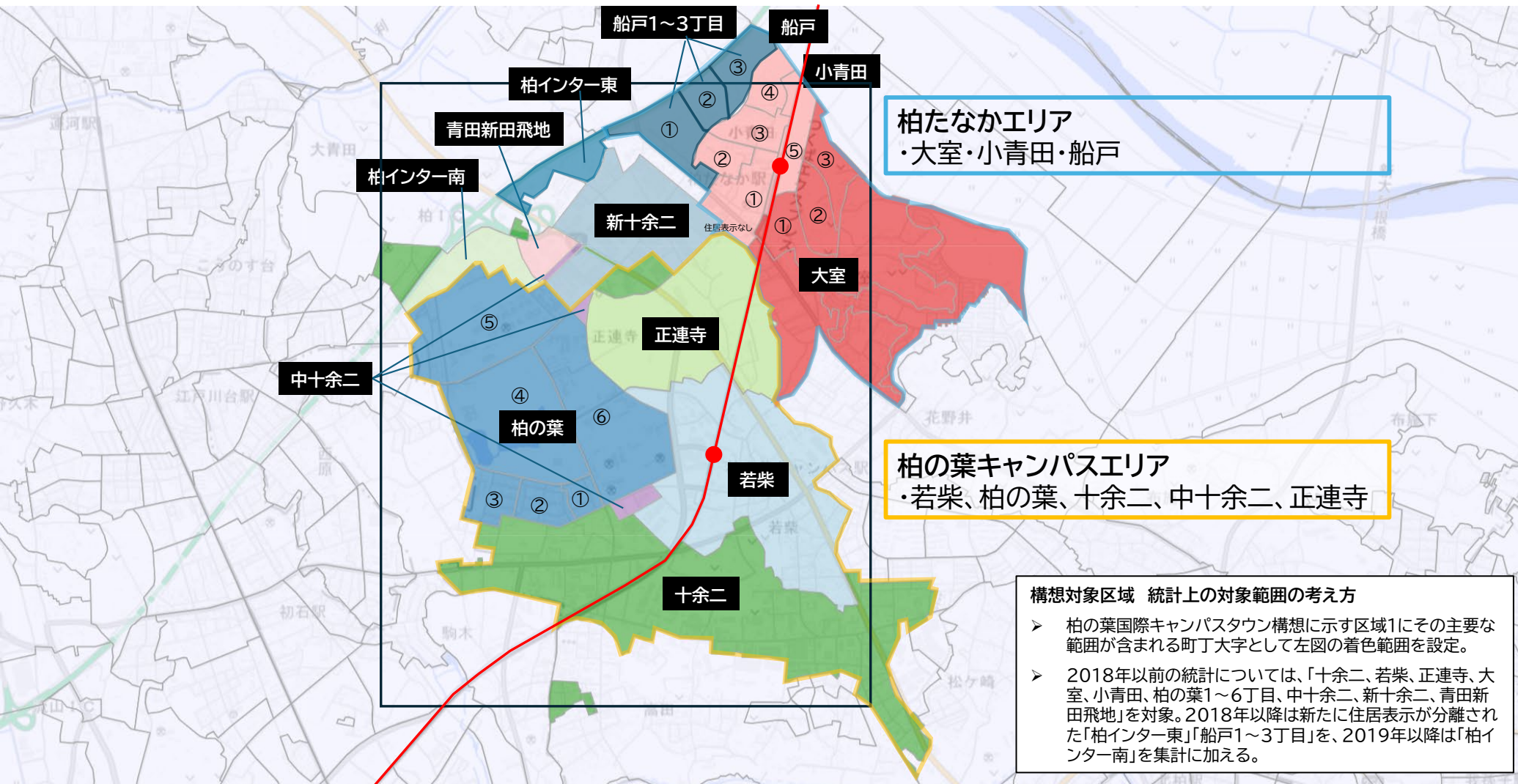
■実施期間: 2024年6月

- ・2024年6月6日に発送 回答期限を6月30日と設定
- ・google formでの回答フォームを 2024/6/6～2024/6/30の期間開設

■回答数: 592件 回収率約30%

用紙回答	239件
フォーム回答	353件
合計	592件

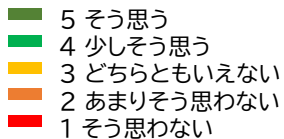
住民アンケート実施対象区域



暮らしとまちづくりの評価

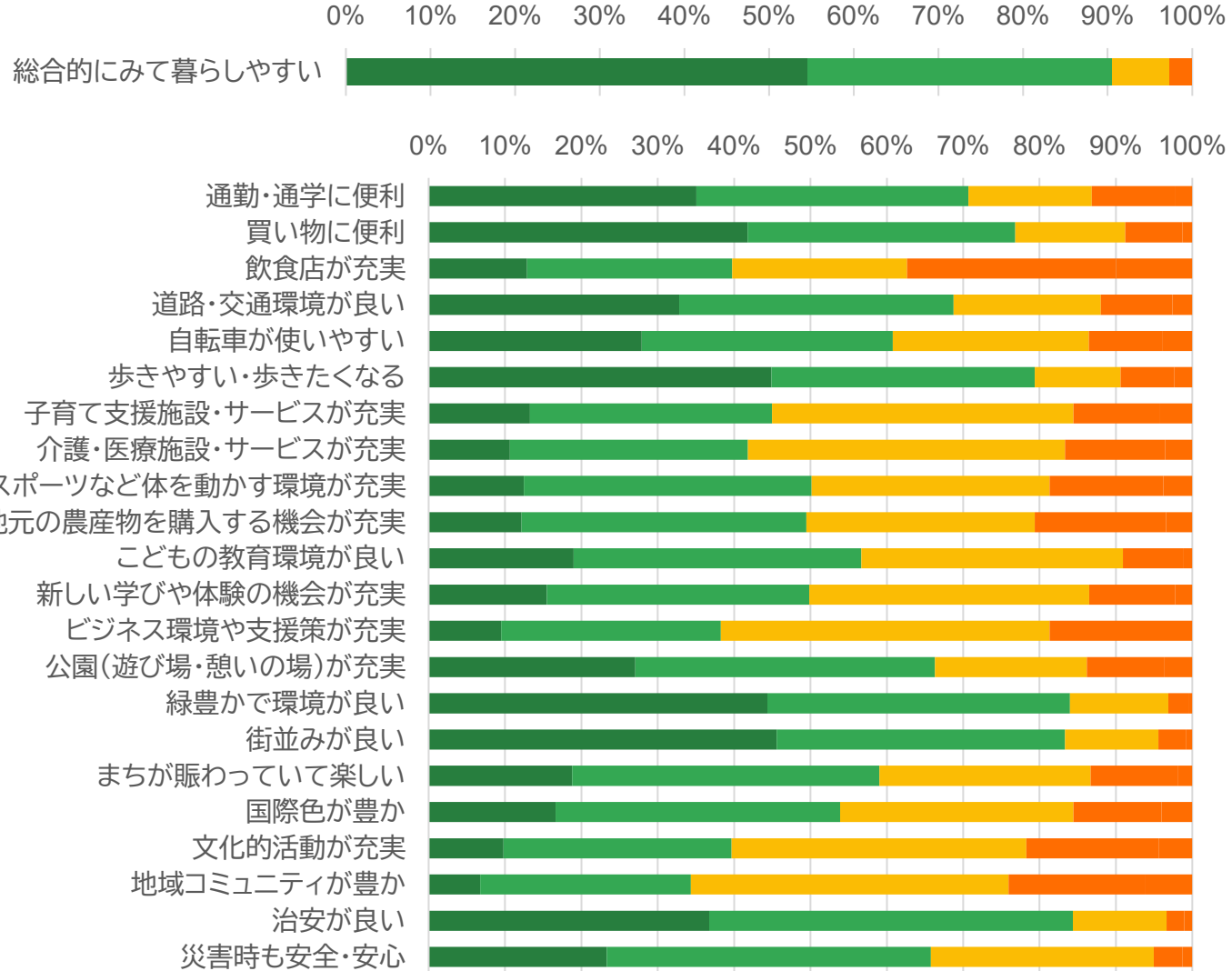
【柏の葉キャンパスエリア】

- 総合評価は5割以上が最高評価の「そう思う」。「少しそう思う」を加えると、約9割が暮らしやすいと感じている。
- 暮らしやすさで評価が高いのは「緑豊かで環境が良い」「街並みが良い」「治安が良い」で、いずれも8割以上が肯定的評価。逆に評価が低いのは、「地域コミュニティが豊か」「飲食店が充実」「ビジネス環境や支援策が充実」「文化的活動が充実」で肯定的評価は4割以下。飲食店は4割が否定的で否定的評価の方が多い。



暮らしとまちづくりの評価(柏の葉キャンパスエリア)

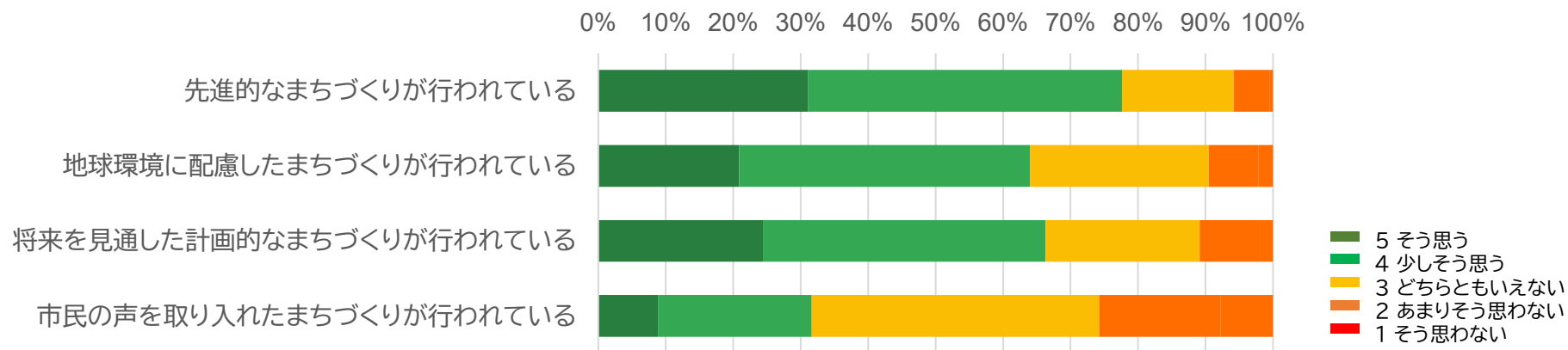
N=390



【柏の葉キャンパスエリア】

- ・「市民の声を取り入れたまちづくり」は肯定的評価が3割と評価が低い。

暮らしとまちづくりの評価(柏の葉キャンパスエリア)N=390



暮らしとまちづくりの評価

【地区比較 : 柏たなかと柏の葉キャンパス】

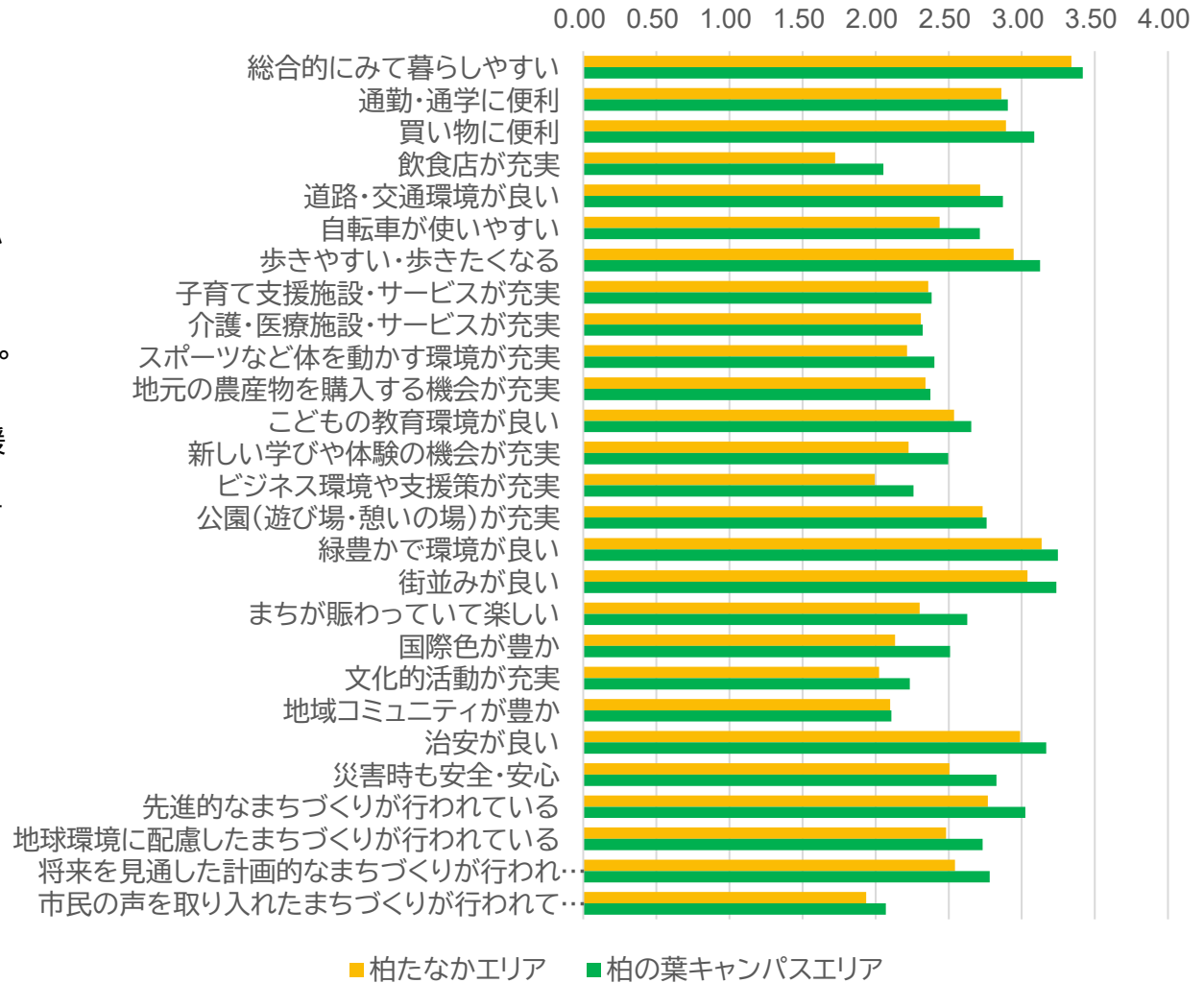
- 総合的な満足度では、柏の葉キャンパスエリアが柏たなかエリアより若干評価が高いものの、大きな差はない。
- 個別評価では総じて柏の葉エリアに比べて柏たなかエリアの評価が低い。特に差があるものとして、「国際色が豊か」「まちが賑わっていて楽しい」「飲食店が充実」「災害時も安全・安心」といった項目がある。
- 両地区ではほぼ同等のものとして、「地域コミュニティが豊か」、「介護・医療施設・サービス」、「子育て支援施設・サービス」、「地元農産物の購入機会」、「公園が充実」などがある。公的サービスは同等レベルと考えられる。

満足度指数

選択肢について以下のように点数を与え、回答者全体の平均値を「満足度指数」とする。(4点満点)

- ・大いに期待する (4点)
- ・どちらかと言えば期待する (3点)
- ・どちらともいえない (2点)
- ・あまり期待しない (1点)
- ・まったく期待しない (0点)

暮らしとまちづくりの評価 (満足度指数の比較)



シビックプライド

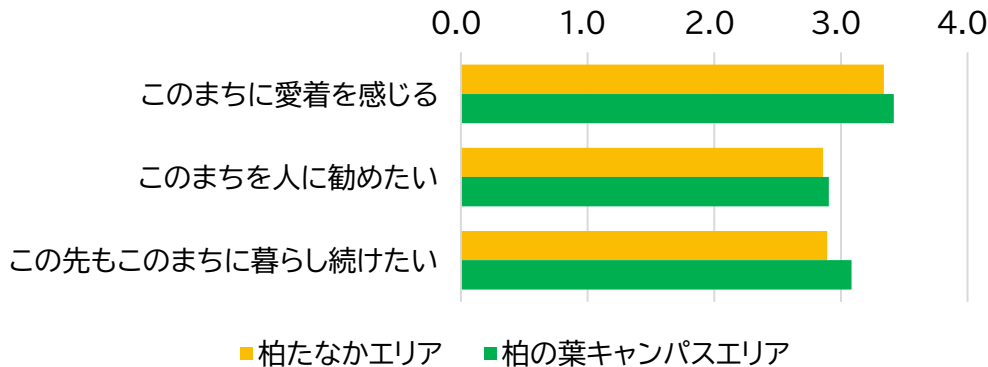
- ・ 柏たなかエリアは「愛着を感じる」のみ肯定的評価が8割以上、その他の項目は肯定的評価が8割を切っている。
- ・ 柏の葉キャンパスエリアは「愛着を感じる」の肯定的評価が約9割おり、その他の項目も8割以上が肯定的評価。

シビックプライド指数

選択肢について以下のように点数を与え、回答者全体の平均値を「シビックプライド指数」とする。(4点満点)

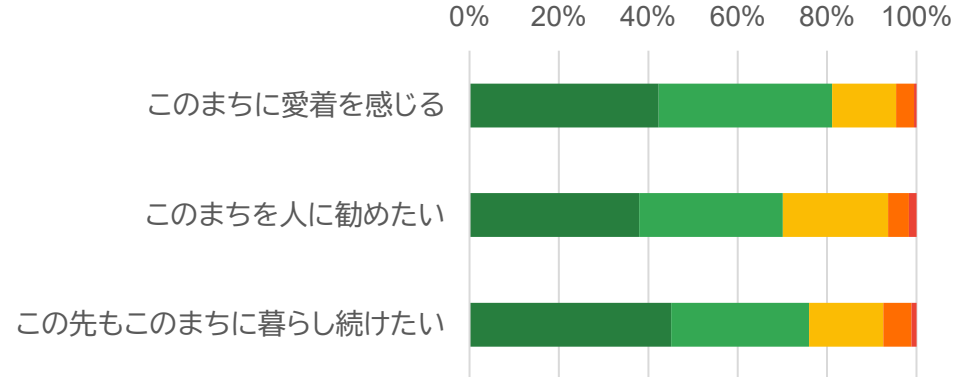
- ・ 5 そう思う (4点)
- ・ 4 少しそう思う (3点)
- ・ 3 どちらともいえない (2点)
- ・ 2 あまりそう思わない (1点)
- ・ 1 そう思わない (0点)

シビックプライド指数



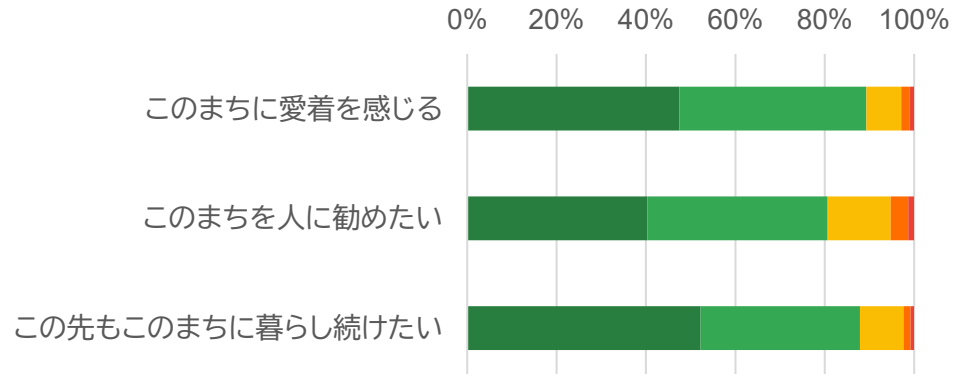
シビックプライド(柏たなかエリア)

N=178



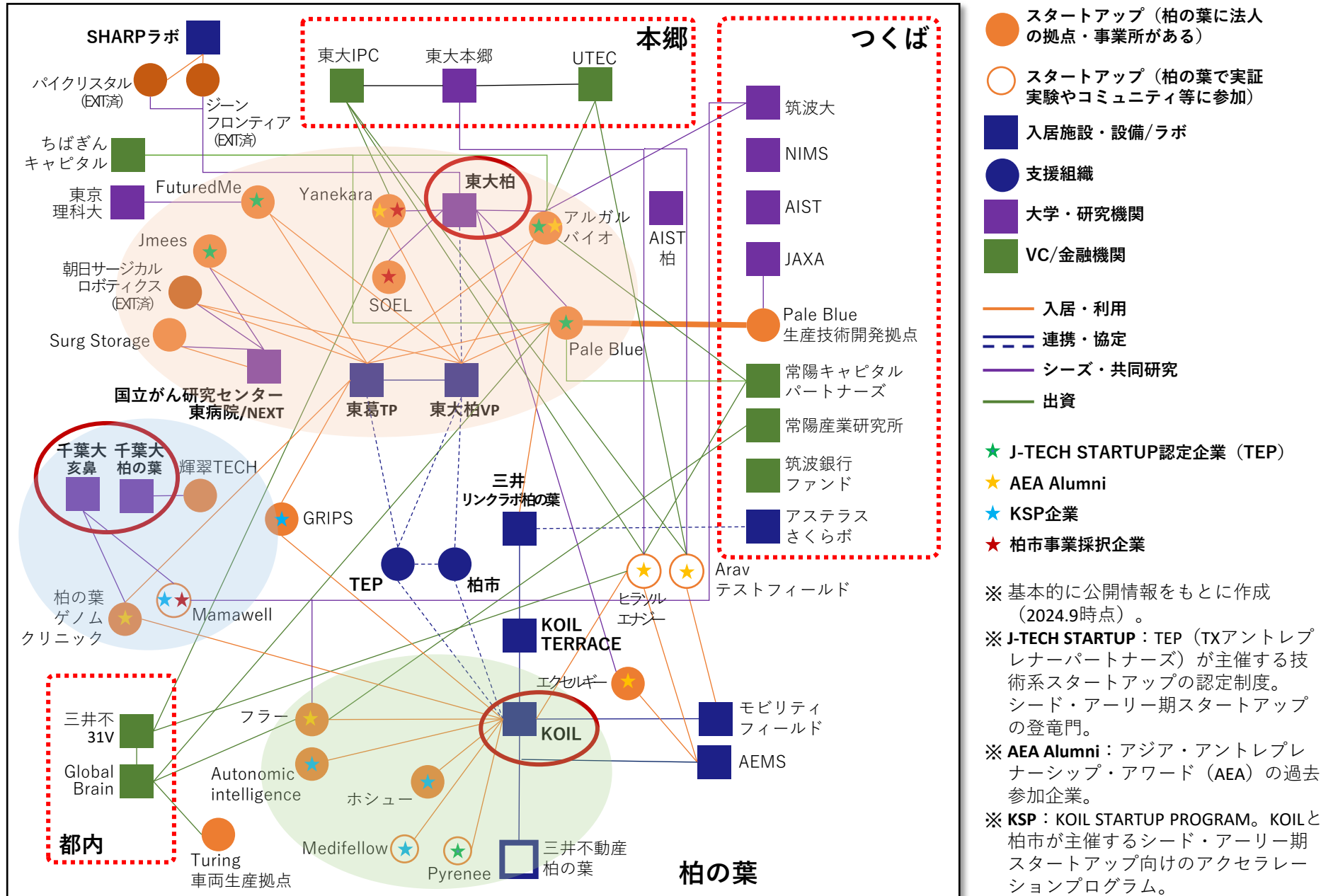
シビックプライド(柏の葉キャンパスエリア)

N=390



- 5 そう思う
- 4 少しそう思う
- 3 どちらともいえない
- 2 あまりそう思わない
- 1 そう思わない

柏の葉地区におけるスタートアップ・エコシステムの形成



【柏の葉スマートシティ】まちづくりの経緯

2006（平成18）年11月 柏の葉アーバンデザインセンター（UDCK）開設

2008（平成20）年 3月 「柏の葉国際キャンパスタウン構想」策定（千葉県、柏市、東京大学、千葉大学）

2011（平成23）年12月 内閣府「環境未来都市」「地域活性化総合特区」（柏市・東大等で申請）選定

2019（平成31）年 3月 国土交通省「スマートシティモデル事業 先行モデルプロジェクト」

（UDCK・柏市・東大・三井不動産等からなるコンソーシアムで実施）選定

【Layer III】

Innovation

スタートアップ・営みの増加

【Layer II】

Urban Well-being

居住者の満足度・幸福度の向上

【Layer I】

Smart City

魅力的な公共空間＋高度なデジタルサービスの導入

